

地球環境と産業化研究会（SGEIS）

SGEIS 基礎講座シリーズ

テーマ：気候変動問題に若者がどのように取り組むか

内容：「気候変動」は、環境破壊や自然災害、異常気象、食料不安と水不足、経済の混乱、紛争やテロを助長するなど、平和や社会の安定を脅かす大きなリスクになっています。講義では、日本国内で早期に大幅な温室効果ガス排出量削減を果たすためのアクションプランを紹介いただくとともに、その目標の実現には将来の社会を担う若者の意見を考慮することが必須であることや、それを集約し統合したメッセージとして社会や行政機関などに発信するための方策についても言及いただきます。次いで、地域で活動する若者の取り組み事例を紹介いただき、「気候変動問題に若者がどのように取り組むか」について参加者の皆さまと考えたいと思います。

【講義】IGES 1.5°C ロードマップとその実現に向けて—若者が主役

(公財)地球環境戦略研究機関 関西研究センター リサーチマネージャー 田中勇伍 氏

【発表】若者の活動状況と今後の課題

- ①ブルーカーボンの実現とグリーンカーボンの実現はどちらのほうがカーボンニュートラル実現に近づき、どのような効果があるか？
神戸大学附属中等教育学校 吉田智哉
- ②エネルギーシェアリングの将来性について
兵庫県立三田祥雲館高等学校 金光茉帆
兵庫県立星陵高等学校 長谷川陽花、宮崎友里

日時：2024年7月25日(木)13時30分～15時30分

場所：中央区文化センター(神戸市中央区東町115番地)11階 会議室 1112

<https://www.kobe-bunka.jp/facilities/chuo/>

対象：参加資格不問(高校生、大学生の参加を歓迎します)

定員：30名程度(先着順、申込人数が定員になり次第締め切ります)

参加費：無料

主催：地球環境と産業化研究会(Society for Global Environment & Industrialization Studies)

お申し込み方法(締切:2024年7月18日)

下記のサイトからお申込みください。SGEIS 事務局より受付確認メールが送信されます。

<https://forms.gle/DcKsf4a3FB8mWoxY7> (右のQRコードが利用できます)

この申込サイトが利用できない場合、電子メールにて、会員は氏名・会員番号、非会員

は氏名(ふりがな)・所属・住所・電話番号を明記のうえ、info.sgeis@gmail.com までお申し込みください。



講座の流れ

当日のタイムテーブル	
13:30～13:35	主催者挨拶・進行について
13:35～14:25(講義 40 分、質疑応答 10 分)	講義
14:25～14:55(発表・意見交換 30 分)	発表①
14:55～15:25(発表・意見交換 30 分)	発表②
15:25～15:30	事務局連絡・終了

講師の略歴

たなか ゆうご
田中勇伍 氏

(公財)地球環境戦略研究機関 関西研究センター リサーチマネージャー
専門はエネルギーシステムと公共政策。地域共生型の再生可能エネルギー、地域循環共生圏の構築、ステークホルダーの参加による分野横断的な脱炭素ビジョンづくり、などをキーワードに研究・実践の両面から活動を展開中。京都大学大学院総合生存学館博士一貫課程修了。博士（総合学術）。これまで電源開発株式会社（J-POWER）にて原子力発電所立地業務と経営企画業務に、国際エネルギー機関（IEA）にて再生可能エネルギーの電力系統統合に係る分析業務等に従事。2020 年より現在まで神戸大学法学研究科非常勤講師として脱炭素社会に係る講義を担当。



発表について

神戸大学附属中等教育学校「課題研究(卒業研究)」と「令和 5 年度ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト」に参加した高校生から、気候変動問題に取り組んだ事例を発表いただきます。

●神戸大学附属中等教育学校の課題研究とは？

同校では総合的な探究（学習）の時間を「Kobe ポート・インテリジェンス・プロジェクト」と名付け、省略して「Kobe プロジェクト（KP）」と呼ばれています。KP の 6 年間の流れは、基礎期（1、2 年）の課題研究入門と、充実期&発展期（3～6 年）の課題研究での協同ゼミの 2 つに分かれています。3 年生から 6 年生で実施される『課題研究（卒業研究）』では、自身の興味・関心に従って 1 人 1 テーマを設定、一人ひとりが探究手法を自分自身で考えて探究を行い、年度末には論文を作成し、ポスターセッション形式で成果を発表します。昨年度の研究成果の発表会は、令和 6 年月 4 月 11 日に行われました。

●ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクトとは？

地球温暖化の進行による異常気象や災害の頻発などの環境問題を多角的に捉え、その解決策を考え、実践できる資質を身につけた高校生を育成することを目的に、「ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト」が毎年開催されています。今回は、県下全域から集まった高校生 26 名が参加し、令和 5 年 9 月から令和 6 年 1 月までの計 4 回（6 日間）にわたり、専門家や企業家、行政職員を講師に迎え、脱炭素社会の実現に向けた様々な取組について多角的に学び、その解決策として自分たちに何ができるのかを考えてきました。学んできた成果として、5 グループに分かれた脱炭素社会に向けた活動案の発表が、令和 6 年 1 月 20 日に行われました。